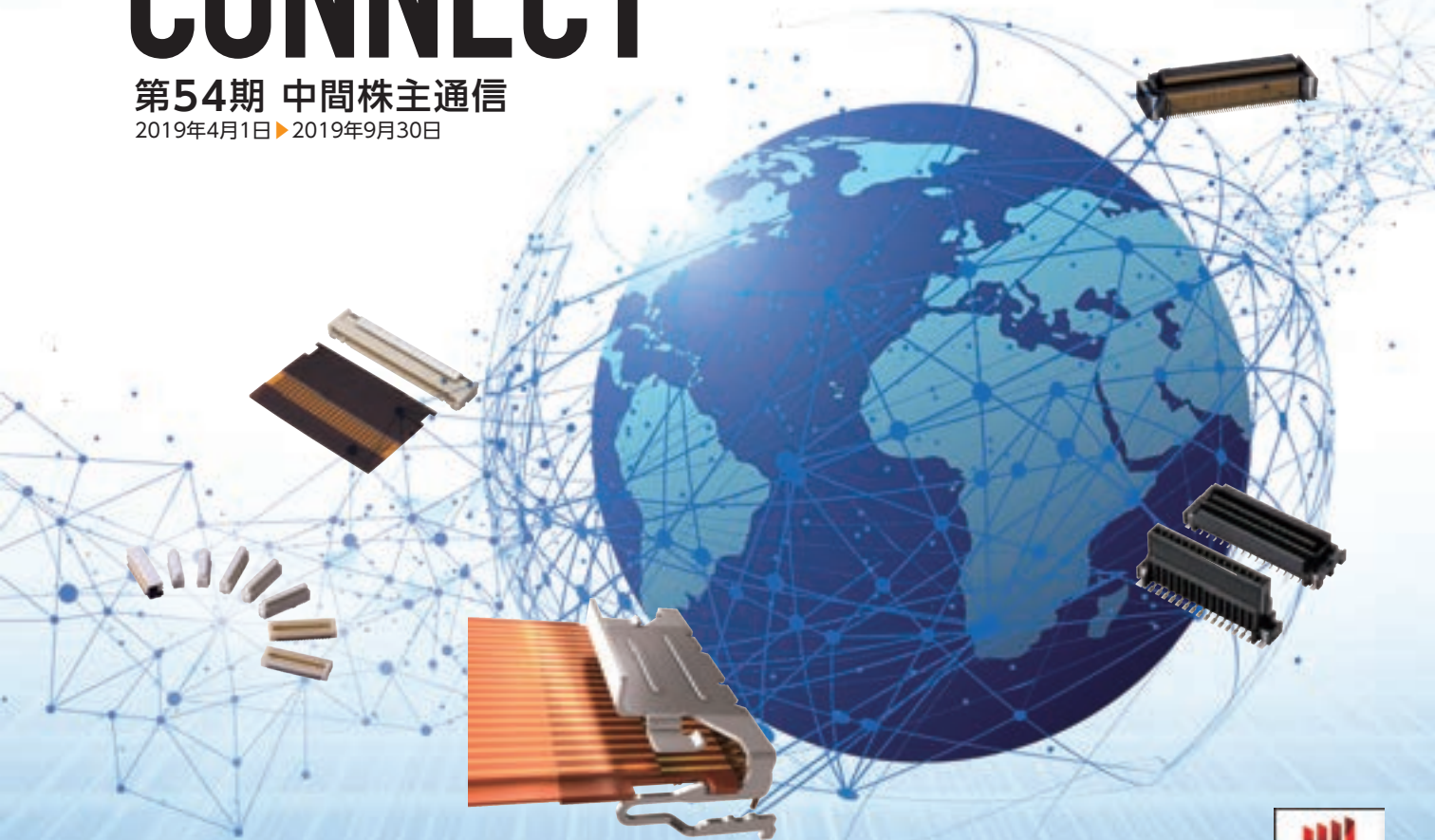


イリソ電子工業と株主さまをつなぐ
コミュニケーションマガジン **コネクト**

CONNECT

第54期 中間株主通信

2019年4月1日 ▶ 2019年9月30日



毎年の当社グループの目指すべき姿を現すもの

未来に続く架け橋として

当社は未来に向かって、常にお客様と共に価値を創造し、共有する場であることを願っています。未来を読み取りチャレンジし続け、価値を生み出す努力を絶えず続けることが、成長という未来への架け橋となります。

人の心を尊重し

戦略や戦術だけでは決して企業は成長できません。私たちが取り巻く人々の心に深く関心を持ち常に感謝の心を意識の原点に置き、満足と感動を与えること、それが尊敬となり、やがて人が動く、いわば未来は人の心の中にあるのです。

豊かな価値を創り

一人一人が常に目的意識を持ちながら行動し、挑戦し努力することが、企業の差となります。それは、今までに無いもの、誰もやったことがないもの、いわば独創性を生みます。その結果の充実感が豊かさを生み、それは単にハードだけにとどまらず、ソフト面やシステム面も含まれます。その自己実現を通して社員の幸せがあります。

社会貢献に努める

企業とは、お客様の信頼を得て、社会の役に立ち、高効率経営で科学技術の発展に貢献し、納税義務を果たして地域社会から存在が認められて、支持をいただくことで根付いてまいります。



取締役会長 佐藤 定雄 代表取締役社長 由木 幾夫

Q 当第2四半期の業績についてお聞かせください。

A 売上高は200億円と減収(前年同期比17億円減)、営業利益は23億円(同13億円減)と減益となりました。

売上高については、米中貿易摩擦の影響により自動車市場、インダストリアル市場ともに市況が悪化したことで減収となりました。さらに為替市場においてユーロおよび元が急速に円高に推移したことで△5億円の影響を受けています。市場別に見ますと、車載市場における車載カーエレクトロニクス分野は、ADAS(先進運転支援システム)の進展により、カメラ・レーダーなど安全系アプリケーション向けが前年同期比で約10%増加、三次元可動B to Bコネクタ“Z-Move®”をはじめとする電動パワートレイン系向けが前年同期比で約45%増加し、この2領域で全売上の21.9%を占めるまでに成長しました。一方、カーナビゲーション分野は、搭載車種の販売台数が想定を下回ったことで苦戦が続きました。コンシューマー市場は、複合機、ゲーム機、デジカメ向けを中心に減少となりました。インダストリアル市場は、米中貿易摩

第2四半期は売上・利益ともに前年同期比減少。2020年3月期通期の業績見込は下方修正しますが、長期ビジョン達成に向けた取り組みは継続します。

擦の影響を受け、中国におけるFA機器の設備投資が抑制されたことから減収となりました。地域別に見ますと、日本、アジア圏、欧州、シンガポール、米国では減収であったものの、タイではコンシューマー市場の減少を車載市場がカバーしたことで増収となりました。なお、欧州では円高の影響を除けば4%の増収となります。

利益については、通常の原因低減施策に加え、コンティンジェンシープラン(緊急対応計画)を実施したものの、売上減少および今後の販売見通しを考慮し生産調整を行ったことにより減益となりました。

Q 2020年3月期通期の見通しについてお聞かせください。

A 期初計画では下期から市況が回復する見込みでしたが、今後も厳しい市況が続くと見込まれることから、売上高405億円(期初計画比45億円減)、営業利益61億円(同20億円減)に計画を下方修正致しました。下期の為替レートについては、108円/ドル、120円/ユーロ、15.3円/元と想定しています。また、下期は在庫調整が完了することに加え、原価低減施策とコンティンジェンシープランを継続実施することで、通期の営業利益率15%を確保します。

中長期的な成長戦略については変更することなく、技術開発、マーケティング、営業活動、生産力強化、人材強化

の取り組みを積極的に継続実施していきます。これにより、市況回復時の業績回復と長期ビジョンに掲げる売上1,000億円の達成を目指します。

Q 株主のみなさまへのメッセージをお聞かせください。

A 当社は、株主のみなさまに対する安定的な利益還元を経営の重要政策と認識し、業績・経営環境および中長期的な財務体質の強化を勘案して配当を行うことを基本方針としています。内部留保につきましては、今後予想される経営環境の変化に対応すべく、コスト競争力を高め、市場ニーズに応える技術開発・生産拠点の拡充を含めた製造体制の強化を図り、さらには、グローバル戦略の展開を図るために有効活用することを基本方針としています。

また、株主のみなさまへのわかりやすい情報開示にも努めていきます。自動車の分野においては、CASE(コネクテッド化、自動運転化、カーシェア、電動化)に代表される100年に一度の大きな変革が起きているため、従来の「カーAVN」「カーエレクトロニクス」の2区分から「インフォテインメント(インフォメーション+エンターテインメント)」「セーフティ」「パワートレイン」「その他」の4区分に変更した報告を行ってまいります。

株主のみなさまにおかれましては、引き続き一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

イベント

展示会出展のご報告

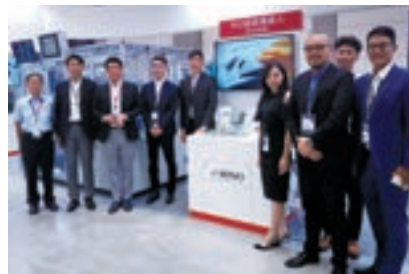
当社製品のPRのために世界中で展示会に出展しています。

台湾 TAIROS 台湾ロボット&インテリジェンスオートメーション展

日程 2019/8/21(水)~8/24(土)
場所 Taipei Nangang Exhibition Center, Hall 2 (南港展覽二館) 1F
出展社数 170社
来場者数 約145,000名

TAIROS 台湾ロボット&インテリジェンスオートメーション展は自動化技術・ロボット技術の展示会で、産業用・工業用ロボット、ロボットアーム、配管工事ロボット、サービス型ロボット(清掃、教育、ケア・介護ロボット)等、各種ロボット技術が出展されました。

当社は、三菱電機様のブース内にて出展し、ロボットによる自動組立対応コネクタである当社の可動BtoBコネクタとAuto I-Lockコネクタを紹介させていただきました。会場では実際に三菱電機様のロボットが当社のコネクタを使ってPLC(Programmable Logic Controller)の組立を行う様子を見ることができ、多くの来場者の方に足を止めていただきました。



アメリカ The Battery Show 2019

日程 2019/9/10(火)~9/12(木)
会場 Suburban Collection Showplace
出展社数 650社
来場者数 約8,500名

The Battery Show 2019は次世代の優れたバッテリーアプリケーションが出展される展示会で、アメリカの企業を中心に様々なプレゼンテーションとインタラクティブなイベントが行われました。

当社は実際に当社のコネクタが搭載されているハイブリッド車の充電器のカットモデルや、DC-DCコンバーターなどの実機やモックアップを展示し、車載バッテリーと周辺機器への搭載に最適なコネクタの提案を行いました。



地域貢献活動

イリソ電子工業 × 横浜F・マリノス 「親子サッカー教室」 開催

11月4日(月・祝) 12:00~14:00



日産スタジアムに隣接する新横浜フットボールパークにて、マリノスふれあいコーチ3名をお招きし、秋晴れの中「親子サッカー教室」を開催しました。

14家族(お子様25名、大人24名、親戚・お友達家族も含む)合計49名の方々にご参加いただき、サッカーを通じて楽しく親睦を深めました。コーチの方々のフレンドリーな指導もあり、子供たちは夢中でボールを追いかけました。

日産スタジアムをホームとする横浜F・マリノスは、「すべての人にフットボールを」の精神で障がいのある方々が気軽にサッカーを楽しめる環境を目指し様々な活動を続けており、また子供たちや親子サッカーでの教室などを通じて、子供たちの健全な育成に寄与するなどの社会貢献活動にも熱心に取り組んでおります。

同じ新横浜をホームタウンに持つ一員として、当社はこれらの活動の精神に賛同し、今期より、クラブオフィシャルスポンサーとして横浜F・マリノスを応援しております。また今後は、電動車いすサッカー横浜大会にも協賛し、ボランティアとして運営のサポートを予定しています。





連結決算データ

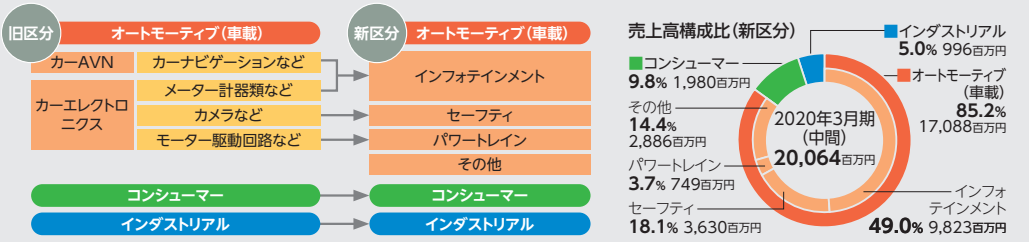
(単位:百万円)

| | 2016年3月期 | 2017年3月期 | 2018年3月期 | 2019年3月期 | 2020年3月期(中間) |
|----------------------|----------|----------|------------|----------|-----------------|
| 業績データ | | | | | |
| 売上高 | 38,209 | 37,547 | 42,248 | 42,834 | 20,064 |
| 国内売上高 | 6,984 | 8,022 | 8,892 | 8,877 | 4,009 |
| 海外売上高 | 31,223 | 29,525 | 33,356 | 33,954 | 16,055 |
| ※2 オートモーティブ(車載)分野 | 32,257 | 31,767 | 35,832 | 36,667 | 17,088 |
| コンシューマー分野 | 4,692 | 4,139 | 4,172 | 3,983 | 1,980 |
| インダストリアル分野 | 1,259 | 1,641 | 2,244 | 2,184 | 996 |
| 営業利益 | 6,568 | 6,661 | 8,426 | 6,084 | 2,381 |
| 売上高営業利益率 (%) | 17.2 | 17.7 | 19.9 | 14.2 | 11.8 |
| 経常利益 | 6,602 | 6,750 | 7,872 | 6,325 | 2,359 |
| 親会社株主に帰属する当期(四半期)純利益 | 4,045 | 4,875 | 5,456 | 3,722 | 1,670 |
| 1株当たりデータ | | | | | |
| 1株当たり当期(四半期)純利益 (円) | 353.46 | 414.32 | 230.47*1 | 157.70 | 70.88 |
| 1株当たり純資産 (円) | 3,418.96 | 3,755.44 | 2,070.36*1 | 2,164.68 | 2,097.29 |
| 1株当たり配当金 (円) | 60.00 | 80.00 | 50.00*1 | 60.00 | 0.00 |
| 財務データ | | | | | |
| 純資産 | 39,296 | 44,692 | 49,283 | 51,329 | 49,739 |
| 総資産 | 47,556 | 52,363 | 60,083 | 61,471 | 58,760 |
| 自己資本比率 (%) | 82.3 | 84.9 | 81.6 | 83.0 | 84.1 |
| 費用データ | | | | | |
| 設備投資費 | 5,446 | 5,431 | 6,123 | 6,732 | 3,390 |
| 減価償却費 | 3,173 | 3,402 | 3,721 | 4,116 | 4,116 |
| 研究開発費 | 976 | 876 | 1,249 | 1,330 | 1,330 |
| キャッシュ・フロー | | | | | |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 8,598 | 6,604 | 9,707 | 6,695 | 2,747 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △ 5,370 | △ 5,406 | △ 6,727 | △ 6,687 | △ 3,391 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △ 744 | 1,260 | △ 777 | △ 1,950 | △ 1,539 |
| 現金及び現金同等物期末(四半期末)残高 | 13,051 | 15,242 | 17,352 | 15,456 | 12,933 |

※1 2017年9月1日付で普通株式1株につき普通株式2株の割合で株式分割を行っております。

※2 車載市場の区分変更について

自動車業界は100年に1度の大きな変革が起きており、自動車内の機器や使われ方に変化が起きています。この変化に合わせて区分変更いたします。



コーポレートデータ

| 会社概要 (2019年9月30日現在) | |
|---------------------|----------------------------|
| 会社名 | イリソ電子工業株式会社 |
| 英文 | IRISO ELECTRONICS CO.,LTD. |
| 創立 | 1966年12月 |
| 資本金 | 56億4,005万円 |
| 従業員 | 単体 467名 連結 3,554名 |
| 拠点数 | 国内 6拠点 海外 16拠点 |
| 開発生産拠点数 | 国内 3拠点 海外 5拠点 |

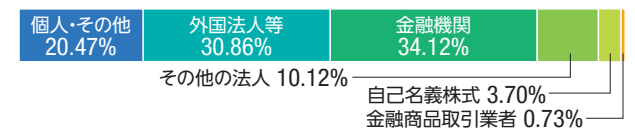
役員

| | |
|---------------|-------|
| 取締役会長 | 佐藤 定雄 |
| 代表取締役社長 | 由木 幾夫 |
| 取締役専務執行役員 | 武田 佳司 |
| 取締役専務執行役員 | 鈴木 仁 |
| 取締役常務執行役員 | 千葉 俊幸 |
| 取締役常務執行役員 | 原 充 |
| 取締役常務執行役員 | 宮内 敏彦 |
| 取締役・監査等委員 | 大江 憲一 |
| 取締役・監査等委員(社外) | 江幡 誠 |
| 取締役・監査等委員(社外) | 藤田 浩司 |
| 取締役・監査等委員(社外) | 山本 嶋子 |

株式の状況 (2019年9月30日現在)

| | |
|----------|-------------|
| 発行可能株式総数 | 70,000,000株 |
| 発行済株式の総数 | 24,583,698株 |
| 株主数 | 2,896名 |

所有者別株式分布状況



大株主(上位10名)

| 株主名 | 持株数(千株) | 持株比率(%) |
|---|---------|---------|
| 有限会社エス・エフ・シー | 2,379 | 10.1 |
| 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口) | 2,294 | 9.7 |
| 日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口) | 2,120 | 9.0 |
| 佐藤 定雄 | 2,001 | 8.5 |
| THE CHASE MANHATTAN BANK 385036 | 1,175 | 5.0 |
| 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9) | 1,015 | 4.3 |
| 第一生命保険株式会社 | 409 | 1.7 |
| 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口5) | 347 | 1.5 |
| JP MORGAN CHASE BANK 385151 | 323 | 1.4 |
| HSBC-FUND SERVICES CLIENTS A/C 500 HKMPF 10PCT POOL | 315 | 1.3 |

(注) 1. 当社は自己株式910,061株を保有していますが、上記大株主からは除いております。
2. 持株比率は自己株式(910,061株)を控除して計算しております。

2020年IRスケジュール



株主メモ

| | |
|---------|---|
| 事業年度 | 毎年4月1日より翌年3月31日まで |
| 定時株主総会 | 毎年6月 |
| 基準日 | 定時株主総会・期末配当 毎年3月31日 (中間配当を実施するときの株主確定日は9月30日です。) |
| 株主名簿管理人 | 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-232-711 (通話料無料) 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 |
| 上場証券取引所 | 東京証券取引所 市場第一部 |

編集後記

株主のみなさま、いつも株主通信をご愛読いただき誠にありがとうございます。
早いもので2019年もあとわずかとなりました。今年は新元号が令和になるという変化がありました。変化と言えば、当社の社内では社長の由木が「変化=チャンス」ということを社員によく伝えていきます。例えば日本では自動車でバックミラーやサイドミラーに代えて、カメラとモニターで視界を確保する「ミラーレス車」が許可されました。この変化によりカメラやモニターの需要が増えることが予想され、当社のコネクタの搭載箇所が広がる可能性が出てきました。今回、車載市場の区分分けを従来の「カーAVN」と「カーエレクトロニクス」の2つから、「インフォテインメント」、「セーフティ」、「パワートレイン」、「その他」の4つに変更することにしました。これは変化をしっかり捉えること、そしてみなさまにわかりやすくその状況を伝えることを目的とした変更です。現在のマクロ経済環境は厳しいですが、変化をチャンスにして参ります。引き続きご支援のほどよろしくお願いたします。

株式事務に関するお問い合わせ先

株主さまの各種お手続き(住所変更、配当金の振込指定、単元未満株式の買取・買増請求など)の窓口については、ご所有の株式が記録されている口座によって異なりますので、ご注意ください。

- 証券会社に口座を開設されている株主さま
お取り引き口座のある証券会社にお問い合わせください。
- 「特別口座」に記載されている株主さま
当社の口座管理機関(兼 株主名簿管理人)である三菱UFJ信託銀行株式会社証券代行部(左記)にお問い合わせください。

当社WEBサイトのご案内

当社WEBサイトでは
最新のニュースリリース、
IR情報をご覧いただけます。



<https://www.iriso.co.jp/>

※これまでの事業報告書もIRページよりご覧いただけます。



IRISO 電子工業株式会社
IRISO ELECTRONICS CO., LTD.

神奈川県横浜市港北区新横浜2丁目13番地8 TEL. 045-478-3111 FAX. 045-478-3539

